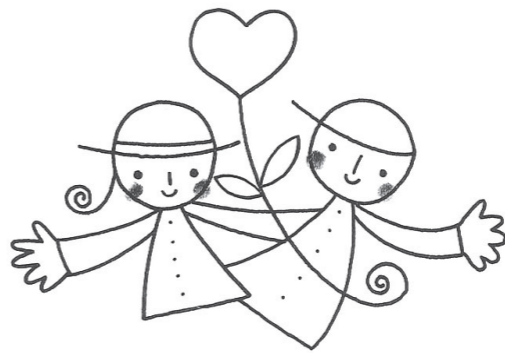


出合いの機会をもっと多く！

人工知能(AI)を活用した婚活事業を提案

内閣府の調査によれば、結婚しない理由として最も多いのが「適当な相手にめぐり合わないから」が54.3%と最も多くなっています。

いま多くの自治体で導入が進んでいる人工知能(AI)を活用した婚活事業の強化を提案しました。普通のお見合いでは年収や容姿などが重要なポイントを占めますが、AIはむしろ様々な成婚カップルのデータをもとに、自分では気づけなかった気の合うパートナーを紹介してくれるシステムです。埼玉県では成婚した38組のうち、21組がAIが提案したカップルだったそうで、成婚率が高くなっています。



山形県でもこの12月からAI導入が行われる予定で、連動した取組が求められます。

若い頃から栄養や体の状況を知ることが大切

プレコンセプションケアの実施と

AMH検査費用の助成を提案

プレコンセプションケアとは妊娠する前の健康管理を重視する考え方で、たとえば不妊の問題では若い女性の「やせ」が低出生体重児を生む要因になるだけでなく、不妊の要因にもなることから、結婚・出産する前からの体の状況を知ることが重要になります。

また、女性の社会進出や働くスタイルの変化に伴い結婚年齢・出産年齢が上昇し、晩婚化・晩産化が進んでいます。一方で、女性が一生で排卵する卵子の数は変わらないことを知らないまま晩婚・晩産が進み、不妊になる例も多いことから、自分の卵巣年齢を正しく知る取組が求められています。

この卵巣年齢は、AMH検査という血液検査で調べることが出来ます。福岡市では30歳という年齢をタニングポイントとしてとらえ、通常5千円から1万円かかるAMH検査が500円で受けられるように助成を行っています。この検査を通して自分がいつ頃まで妊娠できるかおおよその目安を知ることが出来ます。このように若い頃から栄養や自分の体の状況を知ることが、その後の結婚、出産、子育てを進めていく上でとても大切なこととなります。

なお、結婚や出産は個人の尊厳に属するものであり個々のライフスタイルを尊重し、外から強制するものではないことにも留意する必要があります。

沖縄に平和を！

請願「沖縄を犠牲にしない安全保障政策を国に求める意見書の提出に関する件」で以下のような賛成討論を行いました。

沖縄、宜野湾市に行ったことのある人はおわかりだと思いますが、平地のほとんどの部分は米軍の施設で占められており、地元の人たちは平地以外の非常に不便なところに居住しているのが実態です。しかも、普段の生活は飛行機の爆音が鳴り響き、会話や学校の授業が妨げられるという状況です。

米軍は日本を守ってくれているのだから仕方がない、辺野古移転も仕方がないという人がいますが、沖縄に駐留している米軍は殴り込み部隊という筋金入りの侵略を目的とした海兵隊であり、日本を守るために存在しているのではないということです。この間解禁されたアメリカの文書でもそのことは示されています。

むしろアメリカの引き起こす戦争に日本を巻き込む危険性の方が大きいと考えます。もしロシアや中国がアメリカと戦争になったら、真っ先に狙われるのは日本の米軍基地です。

いま、ロシアのウクライナ侵攻を契機に、日本の防衛費を増額せよなどという議論が沸き起こっていますが、6倍の軍事費を持つ中国を相手に防衛費を倍増させてもあまり意味がない、軍事対軍事の考えでは永遠に恒久平和はやってこないのではないのでしょうか。

やはり平和は徹底した話し合い、外交を通じてしか実現しないことを銘記すべきです。ASEANでは年間数千回に及ぶ会合を開いてとにかく問題があれば話し合いで解決するという筋道を立てています。ASEANの取組に学ぶべきです。

このような視点で沖縄から基地をなくそう、沖縄を犠牲にしない安全保障政策を求める請願に賛成します。

※請願は継続審査となりました。

